

酉、大智院興禪軒楊弓在之、九日丁亥、楊弓貴殿在之、十三日辛卯、藤中納言殿楊弓在之、十四

日壬辰、於興禪軒三淵殿楊弓興行在粥、九月十九日丙寅、禁裏御楊弓有之間、四時分參内、御人數曼殊院宮、十一勸修寺

〔言繼卿記〕天文十五年三月九日丙寅、禁裏御楊弓有之間、四時分參内、御人數曼殊院宮、十一勸修寺

大納言、十二權大納言、十三予、十三四辻中納言、十三永相、十六等也、百手有之、萬里小路中納言、祇候

見物也、高倉數取、矢取阿古丸、俊坊藤源爲仲等也、十八年八月四日辛丑、竹内殿御楊弓七十五度有

之、御人數如一昨日、一盞有之、杉原六十、八日乙巳、禁裏御楊弓有之、先御雜談暫有之、次御楊弓五

十五度有之、六十一枚勝了、七時分御小積有之、御人數御矢、御穴廿四、曼殊院宮、廿八穴一、予、廿四、四辻中納言、穴一

廿四、新中納言、廿一、等也、御矢取鶴壽丸、基孝朝臣兩人也、御用心之時分候間、其間ニ御添番ニ祇候、

當番衆新中納言基孝朝臣也、御添番予、鶴壽丸、重保朝臣等也、十九年三月廿六日庚寅、正親町一

品禪門楊弓之由被申送之間罷向六十五度有之、人數亭主、廿二、中山、五、予、廿七、四辻、廿七、中御門、三

滋野井、廿四、甘露寺、六、牧雲、十四、等也、先一盞有之、後ニ白粥有之、申下刻歸宅、予、鵝眼四十二勝了、

十月八日戊辰、禁裏御楊弓有之、四十三度有之、御懸物可持參之由有之間、牛黃圓、一具、持參、御人數

御矢、廿、勸修寺大納言、廿、予、十七、四辻中納言、十五、新中納言、九、重保朝臣、十三、永相朝臣、八、等也、御懸

物新中納言拜領也、杉原十帖御帶一筋也、勸修寺二人之分茶、庭右佐、杉原一帖被取之、予、杉原二帖取之、

右衛門佐香箸、勸子、牛黃圓取之了、於清涼殿有之、小積如常、及黃昏退出了、四十七枚勝了、

〔晴豐記〕天正十八年六月九日、禁裏にて御楊弓參候へば、くわんらん相煩不出申也、十九年三月

八日、禁裏御楊弓にまこう申候、九日、御楊弓十五人にてあそびし候、百手ニ予、卅五、かさ也、

〔御湯殿の上の日記〕慶長八年十一月五日、御やうきうあり、おとこたちもまこう、

〔狗狛集十七〕近年寛永の聞書、世上に楊弓のはやりはんべりければ、

楊弓の下手の座敷や夏こたつ